

| 区分 | No. | 科目名 | 配当年次 | 担当者名 | 専任・非常勤の別 | 単位数 | | | 授業内容 |
|------------|--------------|------------------------|-------|-------|----------|------|------|---|--|
| | | | | | | 全学共通 | 学部共通 | 専門 | |
| 共通科目 | 1 | 心の科学Ⅰ | 1 | 野副紫をん | 専任 | 2 | | | 公認心理師及び臨床心理士の資格を有し心理治療の経験を持つ教員が、授業の中で一般的によく見られる精神疾患やセルフモニタリング等、学生の心身健康に関する知識や対処法を教授し、学生のメンタルヘルスの維持増進に寄与する。 |
| | 2 | 日本の文化と社会 | 1 | 四辻秀紀 | 専任 | 2 | | | この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、日本の歴史の中で培われてきた文化諸相を鑑賞し、内在する伝統と変遷を探究する「実務経験のある教員による授業科目」です。 |
| | 3 | 情報と社会行動の科学 | 1 | 大谷 尚 | 専任 | 2 | | | ・2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校長としての実務経験を、本授業の学校教育に関する内容に反映させる。 |
| | 4 | 体験型プロジェクト(S)企業探索 | 1 | 松井 義司 | 専任 | 4 | | | 担当教員は電機メーカーに長年勤務し新興国での市場開発に従事し、販売会社の運営・組織運営や人材育成・販路や物流体制の構築・代金回等に関わってきた。これらを踏まえ、地元企業の様々な仕組みや工夫について学生の皆さんと理解を深めて行きたい。 |
| | 5 | 体験型プロジェクト(XE)犬山学/徳川美術館 | 1 | 四辻秀紀 | 専任 | 4 | | | この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、地元の歴史・文化に関心を寄せ、古典や歴史に対する知識と理解度を高める「実務経験のある教員による授業科目」です。 |
| | 6 | 環境共生の探究I | 1 | 郡 麻里 | 専任 | 2 | | | 担当教員は環境省など国の委託事業や補助事業を担当した経験がある。現在の国の生物多様性保全や気候変動への対策・方針について紹介する。 |
| | 7 | 日本事情Ⅴ | 1 | 四辻秀紀 | 専任 | | 2 | | この科目は、徳川美術館・学芸員の経験を有する教員が、日本の代表的な伝統芸能を取り上げ、これらによって育まれた文化形態の理解を深める「実務経験のある教員による授業科目」である。 |
| 専門科目 | 8 | 市民生活と法 | 1 | 佐藤直史 | 専任 | | 2 | | 弁護士としての経験を有する教員が法律実務上の経験を活用し、身近な法律について解説を行う授業です。 |
| | 9 | 裁判と法 | 2 | 遠山圭一 | 専任 | | 2 | | ・担当教員のうち、遠山圭一が弁護士として、民事事件刑事事件などの実務に携わっている教員である。その実務経験を活かして、実務的な観点から、裁判手続の仕組みや法律の構造などについて解説する科目である。 |
| | 10 | 商業簿記 | 1 | 荒鹿善之 | 専任 | | 2 | | 日商簿記検定試験委員の担当経験がある教員によって行われる授業です。日商簿記検定3級の受験に役立つ資料を配布します。2級の出題範囲に含まれる問題演習にも取り組む場合があります。 |
| | 11 | 経営学 | 3 | 松井 義司 | 専任 | | 4 | | 教員は電機メーカーに勤務し、中東・ロシア・インドに駐在するなど主に新興国の市場開発に従事して来た。実務と理論の両方の視点から、学生と企業活動について考えて行きたい。また、様々な地元企業の方々にもセミナーをして頂く授業運営を行う。 |
| | 12 | 経営情報論 | 3 | 小川哲司 | 専任 | | 2 | | 情報通信業界にて新規サービスの立ち上げやマーケティングの業務経験を有する教員が、経営と情報の関わりについて実践的な観点より解説する科目である。 |
| | 13 | 情報と法 | 3 | 萩原聡央 | 専任 | | 2 | | 自治体の情報公開・個人情報保護審査会委員の経験を持つ教員が、情報の自由な流れの保障と情報の保護のバランスが必要であるとの視点から、行政やメディアを含む企業等における情報の取扱いをめぐる課題を解説する。 |
| | 14 | 生活経営論 | 3 | 中村壽男 | 専任 | | 2 | | 金融広報アドバイザー(愛知県)として働く世代やシニア世代へ「お金」に関する話題を提供してきた経験を活かし、ライフステージ別の生活設計、暮らしにかかる税金などを解説する。 |
| | 15 | 原簿計算論 | 2 | 荒鹿善之 | 専任 | | 2 | | 日商簿記検定試験委員の担当経験がある教員によって行われる授業です。受講者は、基礎的な問題に加えて、検定試験で出題される問題にも取り組む場合があります。 |
| | 16 | 情報システムの理論と実際 | 3 | 小川哲司 | 専任 | | 2 | | 情報通信業界にて情報システムの開発経験を有する教員が、情報システムの特性や開発手法について実践的な観点より解説する科目である。 |
| | 17 | 情報通信ネットワーク | 3 | 小川哲司 | 専任 | | 2 | | 情報通信業界にてネットワークの設計・構築経験を有する教員が、ネットワークの特性や仕組みなどを技術的な側面より解説する科目である。 |
| | 18 | 簿記Ⅰ(株式会社会計) | 2 | 中村壽男 | 専任 | | 2 | | 簿記検定試験委員として培った経験より、大学で学ぶ簿記の学習成果を確認するため、日本商工会議所簿記検定試験へのチャレンジを奨励している。 |
| | 19 | 簿記Ⅱ(製造業会計) | 2 | 中村壽男 | 専任 | | 2 | | 簿記検定試験委員として培った経験より、大学で学ぶ簿記の学習成果を確認するため、日本商工会議所簿記検定試験へのチャレンジを奨励している。 |
| | 20 | ビジネスモデル | 3 | 植村真司 | 専任 | | 2 | | 教員は企業(総合商社)の中で新しいビジネスモデルを構築し、社内起業と上場を果たした成功体験がありますが、それ以上の数の失敗体験を持っています。その失敗経験は皆さんの将来の成功の手引きになるとしますので、授業では赤裸々に共有します。 |
| | 21 | 社会政策と社会保障 | 3 | 木村牧郎 | 専任 | | 2 | | NPO職員として精神障害者の生活支援に携わった経験から、実際の障害者が暮らしと就労を両立させるためにどのような課題に直面しているかを解説する。 |
| 22 | 特殊専門講義Ⅱ(中国法) | 2 | 白出 博之 | 専任 | | 2 | | JICA長期派遣専門家・弁護士としての中国法制度整備支援の実務経験を活用し、中国法の案例分析等、具体的なケースを題材とした説明を実施していきます。 | |
| 演習 | 23 | 基礎演習ⅡA | 2 | 中村真咲 | 専任 | | 2 | | 担当教員の犬山市歴史まちづくり協議会委員、犬山市史編集委員、犬山学研究センター長としての実務経験を活かして、行政文書(歴史的風致維持向上計画、歴史文化基本構想など)を授業のなかで素材として学びます。 |
| | 24 | 基礎演習ⅡA | 2 | 松井 義司 | 専任 | | 2 | | 担当教員は電機メーカーに長年勤務し新興国での市場開発に従事し、販売会社の運営・組織運営や人材育成・販路や物流体制の構築・代金回等に関わってきた。これらを踏まえ、演習活動では地元企業の様々な仕組みや工夫に理解を深めて貰いたい。 |
| | 25 | 専門演習ⅠA | 3 | 松井 義司 | 専任 | | 2 | | 担当教員は電機メーカーに長年勤務し新興国での市場開発に従事し、販売会社の運営・組織運営や人材育成・販路や物流体制の構築・代金回等に関わってきた。これらを踏まえ、演習活動では地元企業の様々な仕組みや工夫に理解を深めて貰いたい。 |
| | 26 | 基礎演習ⅡB | 2 | 松井 義司 | 専任 | | 2 | | 担当教員は電機メーカーに長年勤務し新興国での市場開発に従事し、販売会社の運営・組織運営や人材育成・販路や物流体制の構築・代金回等に関わってきた。これらを踏まえ、演習活動では地元企業の様々な仕組みや工夫に理解を深めて貰いたい。 |
| | 27 | 専門演習ⅠB | 3 | 松井 義司 | 専任 | | 2 | | 担当教員は電機メーカーに長年勤務し新興国での市場開発に従事し、販売会社の運営・組織運営や人材育成・販路や物流体制の構築・代金回等に関わってきた。これらを踏まえ、演習活動では地元企業の様々な仕組みや工夫に理解を深めて貰いたい。 |
| | 28 | 基礎演習ⅠB | 1 | 郡麻里 | 専任 | | 2 | | 担当教員は環境省や東京都などの行政とともに環境調査や希少種の生育・生息環境の保全活動に携わった経験があるため、特にキャンパスの里山整備事業を授業に取り入れて指導します。 |
| 教職に関する専門科目 | 29 | 教師論 | 1 | 高橋勝也 | 専任 | | 2 | | 担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行っていきます。 |
| | 30 | 教育と社会 | 2 | 大谷 尚 | 専任 | | 2 | | ・2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校長としての実務経験を学校教育に関する内容に反映させる。 |
| | 31 | 現代教育の課題 | 1 | 大谷 尚 | 専任 | | 2 | | ・2010-2012の3年度に渡る名古屋大学教育学部附属中・高等学校長としての実務経験を学校教育に関する内容に反映させる。 |
| | 32 | 教育実習Ⅰ | 3 | 高橋勝也 | 専任 | | 1 | | 担当教員は中学校・高等学校で25年間の経験があります。模範授業を中心とした実践的な指導を行っていきます。 |
| | 33 | 教職実践演習(中・高) | 4 | 高橋勝也 | 専任 | | 2 | | 学校現場の経験に基づいた指導をおこなう。 |
| 合計 | | | | | | 16 | 2 | 53 | |